中等教育学校の教育活動等に関するアンケート調査の実施について

１　要　旨

静岡市では、15 歳人口の急速な減少など、社会環境が大きく変化する中、子どもたちに最適な教育環境を提供し続けるため、市立の高校の在り方について、外部有識者からなる委員会などにより検討を重ねてきました。また、静岡県教育委員会においても、このような環境への対応として、市内の公立高校を現在の 14 校から 10 校程度に段階的に集約する方針を打ち出しています。静岡市としても、現在の市立の高校の再編について、市立の枠組みに限定せず、市内の公立高校全体の枠組みの中で、静岡県教育委員会と協議を行いながら、具体的に検討を進めています。

具体的な再編内容は、県と歩調を合わせ公表する予定ですが、本市としては、子どもたちの将来の選択肢を広げ、かつ特色のある学校を検討し、令和８年３月に「中等教育学校」を新たに設置する方針を発表しています。

そこで、「魅力ある新しい中等教育学校づくり」に向けて、将来世代およびその保護者の皆さまがどのような考えをお持ちなのか、どのようなことを期待されているのかを把握するために、市立小学校の児童の保護者を対象にアンケート調査を実施します。

２　アンケートの概要

対　象	市立小学校の児童の保護者 ※回答に際して、「お子様と一緒に回答してください。」とお願いします。
方　法	・Web アンケートによる回答　（基本は選択式） ・保護者連絡ツールにより教育委員会から一括配信
時　期	令和８年 11 月中旬に実施予定（２週間程度）
内　容	●中等教育学校における教育についての質問 ①探究的な学び　②国際・グローバルの学び ③情報・理数の学び　④行事や課外活動 ⑤学習環境・施設整備 ●昨年のアンケートで寄せられた代表的な意見に対する質問 ⑥肯定的な意見について ⑦不安・懸念が含まれる意見について ●その他自由記述

【解説動画の提供】

アンケートにご回答いただく前に、市立の高校の再編の背景や中等教育学校の設置方針を公表するに至った経緯等を詳細に説明する必要があると考え、これまでの市長定例会見等の内容をベースとする解説動画を作成します。アンケートにその動画のリンクを掲載する予定です。

３　アンケート結果の公表

アンケート結果は、集計作業終了後に公表し、今後の中等教育学校の検討材料にします。

担当：教育総務課 054-354-2503

中等教育学校の教育活動等に関するアンケート調査（案）未定稿

【はじめに】

静岡市では、15 歳人口の急速な減少など、社会環境が大きく変化する中、子どもたちに最適な教育環境を提供し続けるため、市立の高校の在り方について、外部有識者からなる委員会などにより検討を重ねてきました。また、静岡県教育委員会においても、このような環境への対応として、市内の公立高校を現在の 14 校から 10 校程度に段階的に集約する方針を打ち出しています。静岡市としても、現在の市立の高校の再編について、市立の枠組みに限定せず、市内の公立高校全体の枠組みの中で、静岡県教育委員会と協議を行いながら、具体的に検討を進めています。

具体的な再編内容は、県と歩調を合わせ公表する予定ですが、本市としては、子どもたちの将来の選択肢を広げ、かつ特色のある学校を検討し、令和8年3月に「中等教育学校」を新たに設置する方針を発表しています。

市が設置を予定している中等教育学校は、小学校 6 年生の時に受験で入学した全生徒が、中学・高校を同じ環境で学ぶ県内初の中高一貫校です。（高校段階からの入学はありません）

そこで、「魅力ある新しい中等教育学校づくり」に向けて、将来世代およびその保護者の皆さまがどのような考えをお持ちなのか、どのようなことを期待されているのかを把握するために、アンケート調査を行うこととしました。 ぜひ、お子様と一緒にご回答ください。

※お子様が複数いる場合も、１家庭につき１回答でお願いします。

※上記内容の詳細について簡単な動画を作成しました。是非ご視聴ください。（リンク）

【参考】

・動画のスライド資料とＱ＆Ａ

・静岡県立高等学校の在り方に係るグランドデザイン（清庵・静岡地区）【出典:静岡県教育委員会】

Q1. お子様の学年を選択してください。（兄弟がいる場合は該当学年すべてを選択してください）

□ 小１　□小２　□小３　□小４　□小５　□小６

Q2. お子様の小学校名を選択してください。

▼

Q3. 中等教育学校における探究的な学びについて、次の選択肢の内容を検討しています。興味や関心のあるものをすべて選択してください。（複数回答できます）【補足】探究とは、子どもたちが自分の興味・関心・疑問を持ったことに対して主体的に追求していく学びです。

□ 01 生徒が深めたいと考える事柄を対象とした探究を実践する。
□ 02 ゼミ形式で個々の生徒の探究を支援できるような体制を整える。
□ 03 一般教科と探究的な学びの往還により、双方の好循環を生み出せるようなカリキュラムを編成する。
□ 04 地域（文化・歴史・産業など）を題材にした探究的な学びを実践する。
□ 05 異学年との協働的な探究、異学年間での成果発表など、異学年間で探究を実践する。
□ 06 外部人材を積極的に活用した探究的な学びを実践する。
□ 07 探究的な学びについて特に興味や関心はない。
□ 08 その他、ご提案等（100 字以内） 自由記述欄

Q4. 中等教育学校における「国際・グローバル」の学びについて、次の選択肢の内容を検討しています。興味や関心のあるものをすべて選択してください。（複数回答できます）

☐ 01 複数回の海外研修を実施する。（例えば、３年生と５年生の２回実施など）
☐ 02 海外の学校の生徒との定期的なオンライン交流や継続的な協働活動を行う。
☐ 03 ALT（外国語指導助手）等の配置を増やしたり、国際交流や海外経験のある行政職員・民間人材を活用したりすることで、日常的に外国語や異文化に触れられる環境をつくる。
☐ 04 英語以外の外国語を学べる選択科目を設ける。
☐ 05 静岡市ならではの文化・産業を題材とした国際交流を実践する。
☐ 06 「国際・グローバル」の学びについて、特に興味や関心はない。
☐ 07 その他、ご提案等（100 字以内） 自由記述欄

Q5. 中等教育学校における「情報・理数」の学びについて、次の選択肢の内容を検討しています。興味や関心のあるものをすべて選択してください。（複数回答できます）

☐ 01 通常の教科とは別に情報・デジタル等を扱う学習枠を設ける。
☐ 02 STEAM 教育の拡充として、生徒の興味を起点に幅広い分野と理数・情報を結びつける学びを展開する。（補足：STEAM 教育とは、科学、技術、工学、芸術、数学を横断的に学び、課題解決や創造力を育む教育のこと）
☐ 03 AI やデータ分析を英会話、情報教育、探究的な学びなど幅広い学習に活用する。
☐ 04 ゲーム、e スポーツ、アニメ、ダンスなど、生徒が自分たちでサークルを立ち上げられる環境をつくる。
☐ 05 物理・化学・生物・数学等の教科の内容をベースに、それをさらに深掘りする研究を行う。
☐ 06 「情報・理数」の学びについて、特に興味や関心はない。
☐ 07 その他、ご提案等（100 字以内） 自由記述欄

Q6. 中等教育学校における授業以外の行事や課外活動について、次の選択肢の内容を検討しています。興味や関心のあるものをすべて選択してください。（複数回答できます）

☐ 01 体育祭　☐ 02 文化祭　☐ 03 遠足　☐ 04 宿泊を伴う研修　☐ 05 国際交流
☐ 06 修学旅行　☐ 07 職業体験・インターンシップ　☐ 08 発表会
☐ 09 しずおか地域クラブ活動　☐ 10 部活動（後期課程（高校段階の４年～６年生））
☐ 12 サークル・同好会活動　☐ 13 外部の習い事　☐ 14 ボランティア活動
☐ 15 行事や課外活動について特に興味や関心はない。
☐ 16 その他、ご提案等（100 字以内） 自由記述欄

Q7. 中等教育学校における学習環境・施設整備についても検討を進めています。このことに関し、賛成あるいは関心があるものを選択してください。（複数回答できます）

☐ 01 いつでもネットワークに接続できる環境、ICT 機器を自由に使える環境の整備。
☐ 02 グループワークや実験・制作ができる多目的ルームの整備。
☐ 03 数人のミーティングから大人数の活動まで対応できる柔軟な空間・施設の整備。
☐ 04 学習環境・施設整備について、特に興味や関心はない。
☐ 05 その他、ご提案等（100 字以内） 自由記述欄

Q8. 約１年前に実施した「静岡市立の高校「新しい学校の姿」に関するアンケート」において、中等教育学校について以下のような肯定的な意見が寄せられました。それについての受け止め（そう思う、ある程度はそう思う、そう思わない）をご回答ください。下記以外のご意見があれば、Q10 の自由記述の欄にお書きください。

	そう思う	ある程度はそう思う	そう思わない
こども達にとって、進路の選択肢が拡大する	□	□	□
高校受験の負担が軽減される	□	□	□
高校受験がないことにより課外活動や探究的な学びが充実する	□	□	□
先取り学習、大学進学準備等にメリットがある	□	□	□
異学年交流、様々な地域から集まる生徒との交流による教育上のメリットがある	□	□	□

Q9. 約１年前に実施した「静岡市立の高校「新しい学校の姿」に関するアンケート」では、中等教育学校に対する懸念事項として、以下のようなご意見が寄せられました。それについての受け止め（不安ではない、少し不安、不安）をご回答ください。下記以外のご意見があれば、Q10 の自由記述の欄にお書きください。

	不安ではない	少し不安	とても不安
小学校６年生の段階で進路を決めることに対する不安	□	□	□
小学校６年生で受験することの負担に対する不安	□	□	□
高校入試がないことで学力・競争心が低下するのではないかという不安	□	□	□
６年間同じ環境により人間関係が固定化してしまうのではないかという不安	□	□	□
遠距離通学により負担が増すことに対する不安	□	□	□

Q10. その他（任意）

その他、市立の高校の今後の在り方、中等教育学校の方針などに関するご意見がありましたら、簡潔に記載してください。（例えば、卒業後の進路に関すること、キャリア教育の充実、現在の市立の高校の伝統や特色の継承に関すること、部活動等に関すること、校地や施設に関すること、中高一貫校の中で高校段階からの入学のない中等教育学校を方針としたこと　など）

（300 字以内の自由記述）